

巻・頭・言

事業委員会活動を通じて思うこと

齋藤 克矢(さいとう かつや)
技術士(建設/総合技術監理部門)
日本技術士会北海道本部
幹事 事業委員長
株式会社ドーコン 水工部 部長



1. はじめに

本年度の北海道本部年次大会において、吉田透前委員長に代わり事業委員長として選任頂きました。2年間の任期となります。宜しくお願い致します。

事業委員会では主に、講演会や研修会の計画・実施を通じて技術士の継続研鑽(CPD)の機会を提供する活動をしております。講演会では、主に北海道が直面している様々な課題や、動き出した新しい取り組み分野の中からホットな話題を抽出し、その話題に関し、産学官及び技術士それぞれの立場の方にご講演を頂いております。研修会では、工事中の建設現場や、供用中の公共施設や民間施設の見学を、日帰り研修と宿泊研修という形で開催しております。

2. 講演会の計画・実施を通じて思うこと

講演会の計画・実施が当委員会のメインイベントです。毎年2月の開催に向けて前年4月から取り組みがスタートします。まずは「どんな話題とするか」について各委員から活発な提案が行われ、議論の末1つの話題に決定します。その後は「どなたにご講演いただくか」について、その話題の分野でご活躍されている方や団体を候補として設定します。その後は各委員の有する人脈を最大限活用し、候補者への講演依頼に移ります。講演者が無事に決まった後は、講演者との調整や打合せを適宜進めます。

ここで、委員会での話題決め会議では、各委員それぞれが当事者意識を持ち、活発な意見・提案が行われます。今年で幹事歴17年目となるベテランの鈴木智之幹事長の効果的ファシリテーションもあり、委員皆の合意の元に話題が決定します。手前味噌ではありますが、事業委員会メンバーの取り組み姿

勢と能力には毎度敬意を感じております。

なお、講演者の皆様にはご多忙にも関わらず我々の依頼を快くお引き受け頂き、大変有難く思っております。改めて感謝申し上げます。

3. 研修会の計画・実施を通じて思うこと

研修会は、夏の日帰り研修と秋の宿泊研修の年2回開催しております。日帰り研修は札幌近郊を、宿泊研修は道内地方技術士会との共同開催であり毎年地方を見学地としております。なお、研修会が参加者同士の人脈形成の機会になることを願い、研修後に懇親会を催しております。

しかしながら近年、参加者は減少傾向にあります。令和2～4年の3年間、コロナ禍の影響で研修会を休止した期間を経て令和5年に再開しましたが、特に宿泊研修では以前のような参加者数まで回復していません。宿泊費やバス代の高騰に伴う会費の上昇等も参加者数低迷の理由と思われますが、外的要因だけを理由にしてはならず、魅力ある研修会とするには？札幌近郊在住者だけでなく、地方在住の方も参加し易くするには？若い技術者により多く参加してもらうには？等々、工夫を凝らし、多くの方に参加してもらう研修会としていく必要があると思っています。なお、宿泊研修開催にあたり、地方技術士会の皆様には毎度多大なるご支援・ご協力を頂いております。改めて御礼申し上げます。

4. おわりに

これからも講演会や研修会を通じ、参加された皆様に新たな知見、気づき等を得て頂き、皆様の充実した業務・社会活動のお役に立てればという思いで活動をして参りますので宜しくお願い致します。